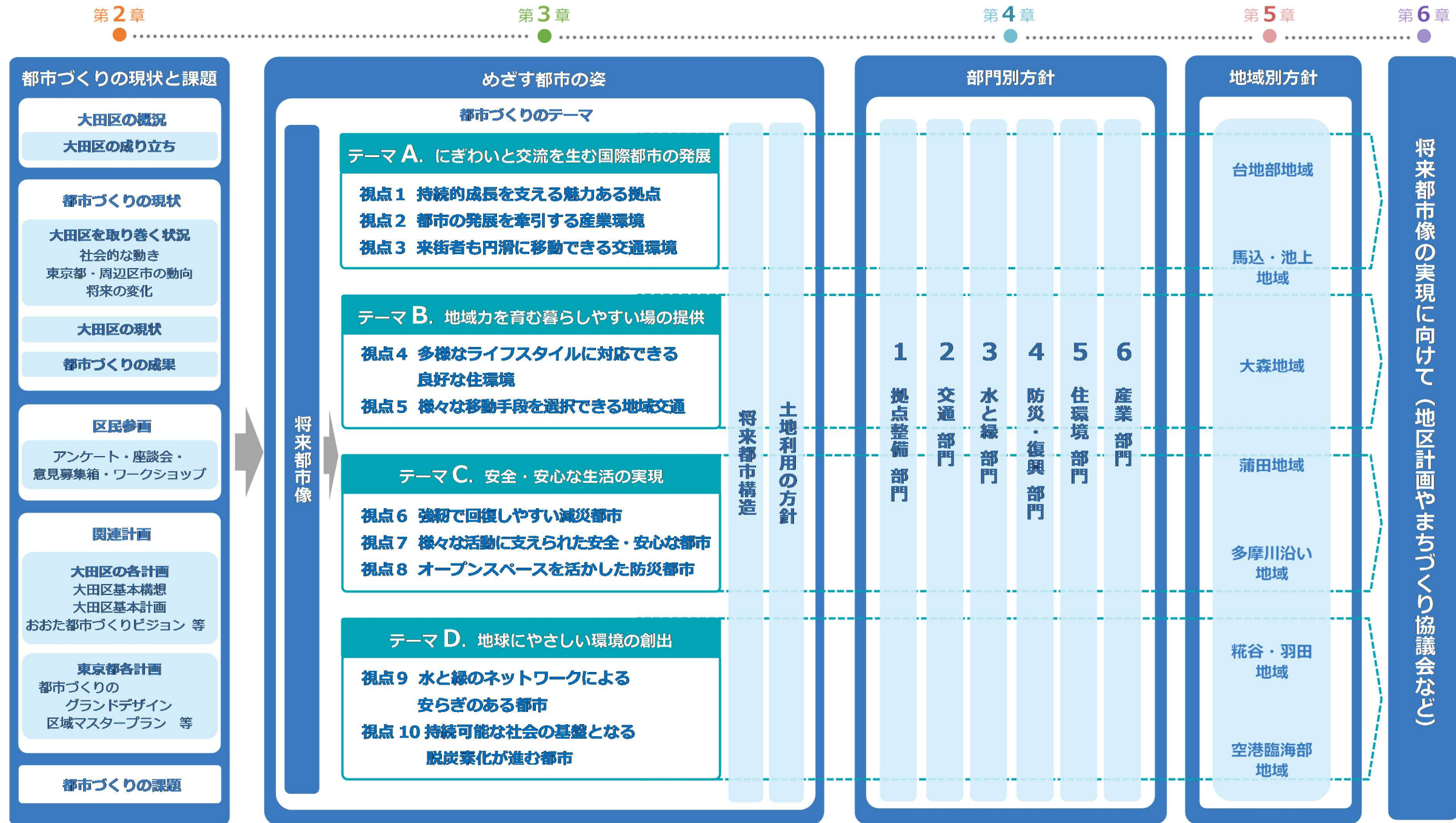


1 都市計画マスタープランの構成（第1章）

1. 構成

大田区都市計画マスタープランでは、都市づくりの課題や大田区基本構想で掲げる将来像などを踏まえ、めざすべき将来都市像を設定します。その実現に向けて設定された都市づくりのテーマを踏まえ、「将来都市構造」、「土地利用の方針」、「部門別方針」、「地域別方針」を示し、大田区の将来像の実現をめざします。また、都市づくりのテーマについては、部門別方針に対して横断的な視点を示すことで、戦略的に都市づくりを推進します。



## 2 めざす都市の姿（第3章）

### 1. 将来都市像

大田区基本構想で掲げる将来像や区民参画の成果、将来の変化、平成23年改定の都市計画マスタープランの理念、東京圏における大田区の役割などを踏まえ、将来都市像を設定します。

将来都市像

「暮らす・働く・訪れる」  
大田区らしい多彩な景色が人々を惹きつける

### 2. 都市づくりのテーマ

将来都市像を実現するためには、生活の中の人々の活動（ソフト施策）とそれを支える都市基盤整備などの都市計画と深く関わる取組（ハード施策）が一体となった展開が必要です。そこで、ソフト施策とハード施策を織り交ぜた4つのテーマを設定し、実現に向けた取組を部門別方針で示します。また、テーマごとに目標となるめざす姿を将来イメージとともに示し、区民をはじめとした様々な主体とめざす姿を共有しながら、実現に向けて取り組んでいきます。



テーマA  
にぎわいと交流を生む  
国際都市の発展

視点

- 1 持続的成長を支える魅力ある拠点
- 2 都市の発展を牽引する産業環境
- 3 来街者も円滑に移動できる交通環境



国際的な雰囲気やにぎわいで  
楽しく歩ける街



多様で柔軟な働き方  
ができる



テーマB  
地域力を育む  
暮らしやすい場の提供

視点

- 4 多様なライフスタイルに対応できる良好な住環境
- 5 様々な移動手段を選択できる地域交通



住民主体でアクティブな  
まちづくり



自転車やスローモビリティで  
行きたい場所に気軽に行ける



テーマC  
安全・安心な生活  
の実現

視点

- 6 強靱で回復しやすい防災都市
- 7 様々な活動に支えられた安全・安心な都市
- 8 オープンスペースを活かした防災都市



水害でも安心な市街地



まちのオープンスペースの防災広場



テーマD  
地球に優しい環境  
の創出

視点

- 9 水と緑のネットワークによる安らぎのある都市
- 10 持続可能な社会の基盤となる脱炭素化が進む都市



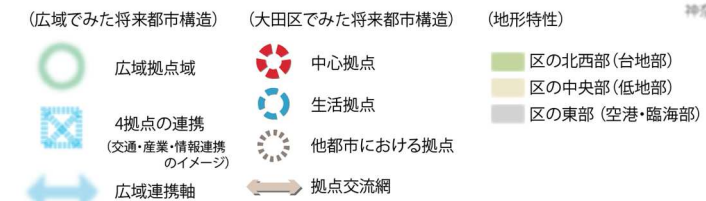
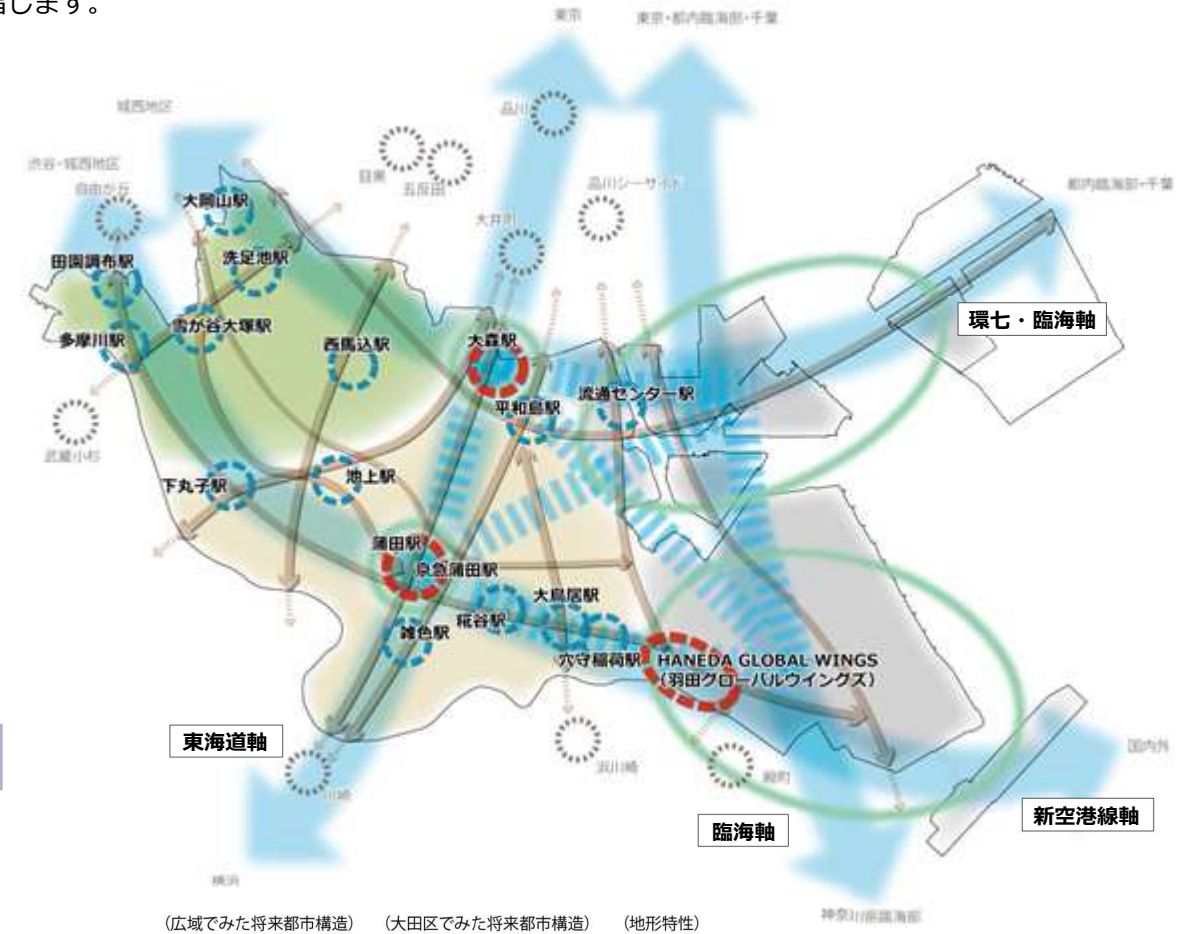
地域の活動が盛んな  
魅力的な公園



環境と共生し生活の質を高める  
脱炭素な都市の実現

### 3. 将来都市構造

拠点と都市軸を主な構成要素とし、今後の都市づくり方針の前提となる都市空間の骨格となる都市構造を示します。大田区の地形特性、広域でみた将来都市構造、大田区でみた将来都市構造を重ね、全体将来都市構造として示します。4拠点域の連携については、広域連携軸を構成する道路・鉄道等の強化に加え、産業の連携や新技術を活用した往來の活発化、情報連携など、有機的なネットワーク形成を目指します。



### 4. 土地利用の方針（P.3 地域別都市づくり方針図参照）

大田区の地域特性に合わせ、現在の土地利用状況を維持しつつ、都市基盤とのバランスにも配慮しながら、多様なライフスタイルに対応する都市機能の集積やみどりの確保、都市づくりへの区民参画などに対応した土地利用を進め、住環境や産業環境の維持・向上を図ります。

### 3 地域別方針（第5章）

大田区全体の都市づくりの考え方を前提に、各地域の特性や課題を整理し、地域別の都市づくりの方向性について示します。

#### 1. 7つの地域の方針

7つの地域には、地形や市街地形成の歴史、土地利用の変化などにより、地域ごとに様々な特色があります。こうした地域の特色を活かした魅力づくりや街並みづくりを進めるため、部門別方針で示した都市づくり方針に基づき、各地域で具体的に展開する取組を示します。

【地域別都市づくり方針図】

注：地域区分は概ねの境を示したものです。このため、地域の境界は相互に重なって表現されています。

